

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	6 入学者選抜等
中項目	
小項目	6.0.1 入学者受入
要素	①公平性、開放性、多様性の確保を前提としつつ、各会計大学院の教育理念及び目的に照らして、各会計大学院はアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を設定し、公表していること。 ②入学者選抜が各会計大学院のアドミッション・ポリシーに基づいて行われていること。 ③会計大学院の入学資格を有するすべての志願者に対して、各会計大学院のアドミッション・ポリシーに照らして、入学者選抜を受ける公正な機会が等しく確保されていること。 ④入学者選抜に当たっては、会計大学院において教育を受けるために必要な入学者の能力等が適確かつ客観的に評価されていること。 ⑤入学者選抜に当たって、多様な知識又は経験を有する者を入学させるよう努めていること。
小項目	6.0.2 収容定員と在籍者数
要素	①会計大学院の在籍者数については、収容定員を上回る状態が恒常的なものとならないよう配慮されていること。 ②入学者受入において、所定の入学定員と乖離しないよう努めていること。

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 自治体会計コース入学者数25名を確保する。	→入学者数11名	C	C	C		
2. 収容定員充足率1.0を維持する。	→収容定員充足率 73% (5/1現在)	C	B	C		
				☆		

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度の自治体会計コース入学者数は、7名、2012年度は4名(春期入学生のみ、秋期入学生は含まず)の合計11名である。自治体会計コースとしても単独での入試説明会を頻繁に(4回)行ったり、新しいターゲットとして地方議員を設定して、それらの層にもASをアピールしている。
★ 目標2	公認会計士試験制度の改正法案廃案や監査法人による合格者の採用数大幅減などといった劇的な環境変化により4月30日現在のASの収容定員充足率は、73%と悪化した。そのため、頻繁な入試説明会の開催(合計8回)、専門業者作成のプロモーションビデオをサイトで閲覧できるようにするなどの方策を講じた。また、学内の大学生を主要ターゲットとして広報に力を入れた。それらの方策にも関わらず充足率1.0に届かなかった。
備考	